

6. 事業内容	<p>本事業は地域の大人たちが子どもの健康と安全を自律的に保障する学校地域社会の形成を目指している。それにより、持続可能な開発目標(SDGs)の目標 3 ターゲット 3.8 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成ならびに目標 4 ターゲット 4.1 質の高い初等教育の修了に貢献する。子どもの安全を脅かす老朽化した教室を保護者が構造補修する(ア)保護者の学校運営能力向上。地域保健ボランティア(CHV)を育成する(イ)地域保健戦略の強化。行政官が、子どもの健康と安全の課題への理解と効果的な住民への行政指導などを促進する(ウ)行政関係者との協働から構成している。なお、(ア)と(イ)との相乗効果を目指して、CHV を育成する準地区を、教室構造補修など学校運営能力向上を実施する優先準地区とし、3 年次は 6 優先準地区とする。事業内容は、次のとおりである。</p> <p>(ア) 保護者の学校運営能力向上</p> <p>小学校の保護者が、教室の構造補修等に参加し、技術面・運営面のほか、子どもの健康に関する知識・技能・視点を習得する。保護者が学校運営に主体的に参加することで、学習環境の改善が自律的に展開することを目指す。</p> <p>a. 教室構造補修:老朽化した教室がある学校で、保護者への運営能力研修と 2 教室の構造補修を実施する。【3 年次:7 校 14 教室】</p> <p>b. 教室建設:倒壊の危険がある教室を自主的に解体する学校を優先して、保護者への運営能力研修と教室建設を実施する。【3 年次:1 校 1 教室】</p> <p>c. リテンド(土留め)壁建設:雨水の流れで土が侵食され、脆弱になった教室基礎の周りにリテンド壁を設置し、建物の安定を確保する。構造補修する教室にこの問題がある場合は、リテンド壁の建設を先に完了する。【3 年次:2 校】</p> <p>d. 水タンク設置:マチャコス郡地方政府が、マシガ準郡の全校へ大型水タンクの供与を開始したため、当初予定した水タンク設置を行なわない。【3 年次:なし】</p> <p>e. 保護者の環境活動:環境活動の必要性和実践への関心がある学校で、保護者参加の環境活動を実施する。活動は、学校菜園、少量の水での野菜栽培、樹木苗の育苗、植樹、学校敷地の土壌保全や草地化などを実施する。【3 年次:2 校】</p> <p>f. NGCDF の教室補修への助言:新国会議員選挙区開発基金(NGCDF)資金で教室補修を実施する小学校の保護者へ、教室の構造強化につながる補修作業についての技術的な助言を行なう。【3 年次:2 校】</p> <p>g. 上記 6 つの活動における保健研修:子どもの健康と CHV との連携に関する保護者への研修を実施する。</p> <p>(イ) 地域保健戦略の強化</p> <p>準郡保健局と協働で、CHV 育成と、CHV をグループ化する地域保健単位(CHU)の形成、保健活動の活性化に取り組む。まず保健活動への意欲が高い住民を CHV 候補として選ぶ。CHV は、研修をとおして子どもの健康かつ安全な成長に関連する知識・技能・視点・態度を習得し、活動の実践を目指す。さらに、CHV が、小学校で学校保健の促進に取り組むための研修を実施し、小学校との連携を促す。</p> <p>a. 地域リーダー保健研修:CHV 研修の導入として、村長老や地域リーダーへの保健研修を実施する。【3 年次:1 準地区 40 人】</p> <p>b. CHV を知らせるための村訪問:1 準地区の全村を訪問し、村人会議を開催する。当会が、CHV の意義・役割と無報酬であること、住民が CHV を支援する意味を説明し理解を得る。秘密投票で住民から CHV 候補を選出する。1 準地区 15 村を平均 2 回訪問し、平均 20 人の住民が参加を見込む。【3 年次:15 村 600 人】</p>
---------	---

	<p>c. CHV 育成研修:4 週間で地域保健戦略とヘルスケアの理論研修、住民の健康情報を収集する実践研修、医療施設での医療実務研修を行なう。1 準地区 45 人の研修修了を見込み、1CHU を形成する。【3 年次:1 準地区 45 人】</p> <p>d. CHV フォローアップ研修:研修を修了し、日常の保健活動を開始した CHV に追加的な研修を 3 回程度実施する。知識の定着と深化、日常の保健活動、小学校との連携に関する研修を行なう。[c. CHV 育成研修]を実施した 5CHU と[g. 先行 CHU 再活性化]に取り組む 2CHU で実施する。研修ごとに 25 人の参加を見込む。【3 年次:21 回 525 人】</p> <p>e. エイズ・リーダー研修:エイズについて、住民へ情報を提供し、地域問題として対処する意識の高い CHV に研修を実施する。[c. CHV 育成研修]を実施した 2CHU と[g. 先行 CHU 再活性化]に取り組む 2CHU で実施する。1 研修 25 人の修了を見込む。【3 年次:4 準地区 100 人】</p> <p>f. CHV によるエイズ学習会:エイズ・リーダー研修の修了者が、自らの村で、住民を集めて地域エイズ学習会を開催する。1 学習会 15 人の参加を見込む。【3 年次:20 村 300 人】</p> <p>g. 先行 CHU の再活性化:事業対象地域内で先行して形成されている CHU について保健局より再活性化への協力要請を受けたため、うち 2CHU を選抜して再活性化研修を実施する。対象者は、CHV 研修を修了もしくは同等の保健知識と保健活動への意欲がある住民とし、1 研修 25 人の修了を見込む。【3 年次:2 準地区 50 人】</p> <p>(ウ) 行政関係者との協働 当会と行政関係者と協働で、地域の問題分析、事業形成、モニタリング、評価を実施し、実施マニュアルを作成する。事業を通して、子どもの健康と安全に関する課題と、課題解決のための住民参加についての理解を深める。他の準郡の行政関係者と実施マニュアルの共有などを通して、経験を共有する。</p> <p>a. 準郡レベルの行政関係者会議:準郡中央行政局・地方行政局・保健局・教育局・NGCDF 事務局と個別に関係者会議を年 2 回開催する。【3 年次:10 回】</p> <p>b. 地区レベルの行政関係者会議:定期会議は予定しないが、住民参加の側面で深刻な課題が発生した場合、臨時に協議する。【3 年次:なし】</p> <p>c. 準地区レベルのリーダー会議:CHU の形成および再活性化に取り組む 8 準地区において、必要に応じて、準地区長主催により、当会と準地区長・村長老・地域リーダーなどと、関係者会議を開催し、地域保健活動の活性化を協議する。【3 年次:8 準地区 10 回】</p> <p>d. 看護官への地域保健普及官(CHEW)研修:保健局と協働で、CHV の保健活動を監督する CHEW の能力向上を図る研修を実施する。【3 年次:1 回 50 人】</p>
<p>7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など</p>	<p>① これまでの事業における成果</p> <p>(ア) 保護者の学校運営能力向上 5 準地区を優先地域とし、事業形成した。さらに、3 年次に追加する優先地域 1 準地区を選定し、予備的な事業形成を始めている。</p> <p>a. 教室構造補修:1 年次 6 校 9 教室の教室構造補修を完了。2 年次末までに累計 12 校 25 教室の補修を完了予定である。</p> <p>b. 教室建設:1 年次はなく、2 年次に 1 校 1 教室の教室建設を完了する。</p> <p>c. リテンド(土留め)壁建設:1 年次 6 校でリテンド壁建設を完了。2 年次末までに累計 10 校のリテンド壁建設を完了予定である。</p>

- d. **水タンク設置**:マチャコス郡地方政府が、マシング準郡の全公立小学校への水タンクの供与を開始したため、水タンク設置を行わないこととした。
- e. **保護者の環境活動**:1年次3校で環境活動を実施。2年次では、活動実践への関心が高い3校を選定し、2校で活動を開始した。
- f. **NGCDFの教室補修への助言**:1年次3校でNGCDFによる教室補修に対して構造強化につながる助言を実施。2年次2校での助言を予定している。
- g. **上記6つの活動における保健研修**:子どもの健康とCHVとの連携に関する研修内容を検討している。

(イ) 地域保健戦略の強化

1年次に形成した2地域保健単位(CHU)の活性化のための活動を継続しつつ、新たに2CHUの形成に取り組んでいる。なお、イトウンドウイムニ準地区の対象人口規模が小さかったため隣接するズキニ準地区と合わせて対象地域(ズキニ合区・ズキニCHU)とした。

- a. **地域リーダー保健研修**:1年次2準地区3回の実施で計131人が参加。2年次1準地区1回の実施で57人が参加した。準地区長、村長老、地域リーダーを対象にヘルスケア概論、CHVの意義・役割、無報酬である点などを説明。住民がCHVを支援する必要性も、参加者と検討した。
- b. **CHVを知らせる村訪問**:1年次2準地区40村を99回訪問2,163人の住民が参加し、108人のCHV候補を選出。2年次はズキニ合区19村を29回訪問627人が参加し、CHV候補48人を選出した。
- c. **CHV育成研修**:1年次2準地区で70人が研修を修了。2年次ズキニ合区で48人への研修を実施中である。
- d. **CHVフォローアップ研修**:日常の保健活動を開始したCHVへの追加研修は、子どもの保護研修、早期性交渉予防研修を準備中である。
- e. **エイズ・リーダー研修**:CHVが住民へエイズ情報を提供する能力向上研修を2年次より開始し、2準地区47人が修了した。
- f. **CHVによるエイズ学習会**:エイズ・リーダー研修修了のCHVが、村でエイズ学習会を開催する活動を2年次より開始し、5村99人の住民が参加した。

(ウ) 行政関係者との協働

- a. **準郡レベルの行政関係者会議**:1年次は、準郡保健局・教育局・NGCDF事務局と計36回協議した。2年次は計19回協議した。(イ)地域保健戦略の強化においては、保健局が当会と協働しつつ、CHV育成への積極的な関与を促すため、頻繁に関係者会議を実施した。また、保健局とは、CHV対象の保健およびエイズ教育マニュアルの形成・改善をすすめている。NGCDF事務局へは、当会の教室補修マニュアルを提供し、NGCDFの補修事業の改善を働きかけている。
- b. **地区レベルの行政関係者会議**:1年次はエカラカラ、キリヨコ地区で7回、2年次はエカラカラ、イカティニ、カンゴンデ地区で5回、地区長・準地区長への事業説明と住民参加の側面での協働について協議した。
- c. **準地区レベルのリーダー会議**:CHU形成に関して1年次は2準地区10回、2年次は4準地区13回の会議を実施した。

② これまでの事業を通じた課題・問題点

CHVの保健活動を日常的に監督し、CHUの活性化の要となる行政官であるCHEWを看護官が兼任しているが、その活動の質や意欲に個人差が大きい。その背景には、看護官が地域保健戦略(CHS)・CHV育成に関する十分な研修を受けていないことがある。

	<p>③ 上記②に対する今後の対応策 保健局と協働で、看護官への CHEW 研修を実施する。</p> <p>④ 持続可能な開発目標(SDGs)の視点 目標 3 ターゲット 3.8UHC の達成については、地域で保健活動を実践できる CHV の育成を進めることで貢献している。目標 4 ターゲット 4.1 質の高い初等教育の修了については、脆弱で暗い土床の教室から、構造補修や建設をとおして、安全で明るく衛生的な教室へ改善することで教育の質の改善に貢献している。</p>
8. 期待される成果と成果を測る指標	<p>活動ごとの成果と成果を測る指標</p> <p>(ア) 保護者の学校運営能力向上</p> <p>【期待される成果】 保護者が、子どもの健康と安全の保障に関する知識・技能・視点を習得し、学校運営へ主体的に参加することで、安全な学習環境の形成を自律的に展開する。これにより、SDGs の目標 4 ターゲット 4.1 質の高い初等教育の修了に貢献する。</p> <p>【成果を測る指標】</p> <p>a. 教室の構造補修、建設により良好な学習環境が形成される。 子どもたちが安全に授業を受けることができる教室数： 【開始時】378 教室(総教室数 63 校 504 教室のうち 75%(当会推定)) 【1 年次】399 教室(21 教室増：うち本事業 9 教室、住民活動 12 教室) 【2 年次】431 教室(32 教室増：うち本事業 17 教室、住民活動 15 教室) 【3 年次】461 教室(30 教室増：うち本事業 15 教室、住民活動 15 教室) ：→学校からの報告、写真、当会スタッフ報告、教育局の記録、年次事業監査</p> <p>b. 安全な教室で授業を受けることができる生徒数が増加する。 安全な教室で授業を受けることができる生徒数： 【開始時】13,230 人(当会推定) 【1 年次】13,965 人(735 人増 21 教室改善) 【2 年次】15,085 人(1,120 人増 32 教室改善) 【3 年次】16,135 人(1,050 人増 30 教室改善) ：→1 教室の生徒数 35 人から計算(生徒数：生徒総数 17,413 人÷504 教室)</p> <p>(イ) 地域保健戦略の強化</p> <p>【期待される成果】CHV が無償の保健活動を地域で実践し、子どもの健康と安全を守る行動が発現する。なお、CHV の活動実践は、目標 3 ターゲット 3.8UHC の達成への貢献でもある。</p> <p>【成果を測る指標】</p> <p>a. 対象準郡東部(20 準地区)において「本事業の CHU 形成」と「当会助言による準郡保健局の自律的な CHU 形成」により、無償保健活動の基盤となる CHU 形成率が増加する。 CHU 形成率： 【開始時】40.9%(準郡東部 20 準地区:CHU 必要数 22;既存数 9CHU) 【1 年次】59.1%(準郡東部 20 準地区:CHU 必要数 22;既存数 13CHU) (本事業での形成 2CHU)(準郡保健局の自律的な形成 2CHU) 【2 年次】71.4%(準郡東部 20 準地区:CHU 必要数 21;見込み数 15CHU) (本事業での形成 2CHU) (準郡保健局の自律的な形成なし) 【3 年次】85.7%(準郡東部 20 準地区:CHU 必要数 21;見込み数 18CHU) (本事業での形成 1CHU) (準郡保健局の自律的な形成 2CHU)</p>

:→準郡保健局の記録、年次事業監査

(ウ) 行政関係者との協働

【期待される成果】行政関係者が、子どもの健康と安全を保障するための課題への理解を深め、行政施策や公式発言に反映される。

【成果を測る指標】

行政関係者から保護者・教員・CHV・村長老など住民への子どもの健康と安全の保障につながる当会の事業経験を踏まえた助言事例が発現する。

助言事例:【開始時】0件;【1年次】5件;【2年次】10件【3年次】10件

:→行政関係者の会合での発言、住民集会での発言、当会スタッフ報告、年次事業監査

事業終了後の持続性

(ア)保護者の学校運営能力向上に参加した保護者は、事業実施をととして学校運営に関する能力や、教室補修・建設を自律的に行う能力を獲得するため、事業終了後もその能力は持続し、当会の介入なしに、自律的に活動を展開することが可能となる。また、(イ)地域保健戦略の強化に参加した CHV は、ボランティアでの保健活動に従事する意欲の高い人材であり、保健に関する基礎知識や情報を伝達する教授法能力を高めていること、(ウ)行政関係者の協働をととして、保健局が CHV を育成し、保健活動の担い手として認知し、監督する能力を高めていることから、保健局主導での CHV 活動の持続機能が構築される。